

○松尾大社所藏文書

京都市右京区嵐山宮町三番地

三三 大宮殿御教書

伯耆国竹田・三朝両郷事、止国衙之綺、任先例可令知
行給旨大宮殿仰候也、仍執達如件、

(一三三九)

曆応武年十二月廿三日

沙弥(花押)

松尾前神主殿

(『松尾大社史料集』文書篇一)

三四 源義種下知狀

松尾社司等申伯耆國東郷庄兵「」、重申狀具書如此、先度觸遣候處、安房右衛門口於地下猶致譴責云云、太不可然、不日可停止、其責若尚不承引者、可有殊沙汰之由、依仰執達如件、

(二三四八)

貞和四年十月廿五日

(押紙)「尊氏將軍管領源義種」

修理亮(花押)

山名伊豆前司殿

(『松尾大社史料集』文書篇一)

三五 相季讓狀

讓与 別相伝社領所所事

一、丹波国雀部庄内富田村一〇御料米以下於社役悉可
□其沙汰者也、次預所得分「」御麻在事可為領
主進退也、

一、同国桑田神戸田惣庄年貢□壹麦并大豆同前、

一、伯耆国東郷庄内浅津預所職□西山分其外預田参町
在所□

段別五反

(倭文社)

一、同庄内一宮押領分社家知行□時者三分壹可令管
領、又竹□□朝以同前何下地共二可知行者、

一、越中国松永庄一円、孝頼神□以下闕怠之時者、任
契狀可申付一円者也、

一、六段内南屋敷境、限東六段堀、限西大道、
限南大道、限北南垣、

一、白栗林并堀中小茶藺壹所
在所
阪□

井戸壹「」

万石北屋敷并折戸屋敷、
河原田之新田一円、

(西力)

別七条上分米三分壹、

(限力)

右所所者、正祝相勝即永代讓与実也、更不可有他

(不脱力)

妨者也、但、神領上者、或寄進仏陀、或永代可沽

却、其段委細載置文畢、仍為後日讓狀如件、

(一三九二)

明德三年正月十一日

相季（花押）

如此相勝へ讓与之处、他界之間、愛一丸令立相季
次男、此在所悉永代讓与者也、仍為後日狀如件、

(一三九四)

明德五年六月十三日

相季（花押）

〔『松尾大社史料集』文書篇一〕

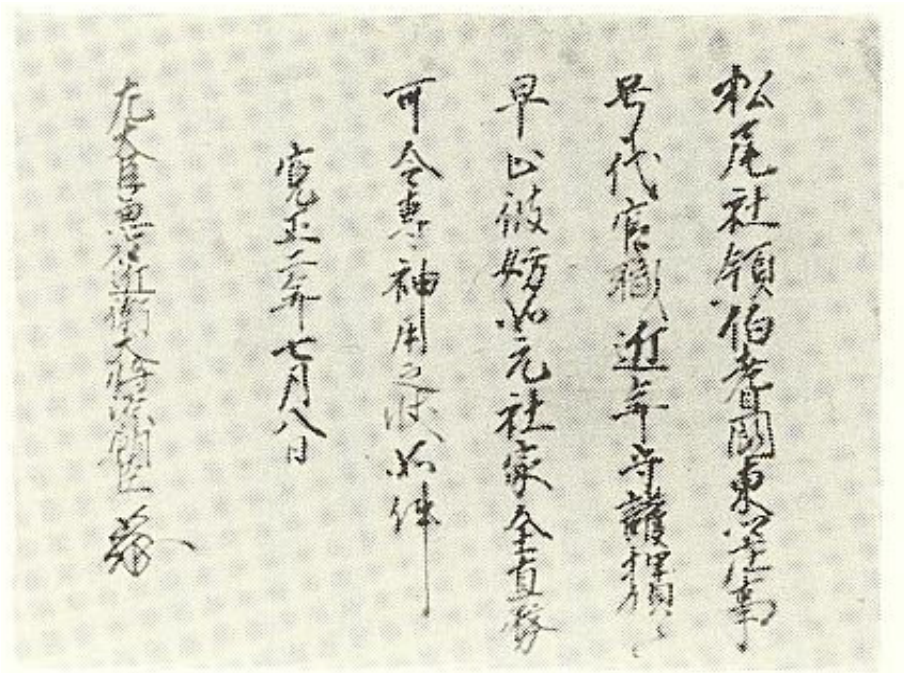
三六 足利義政御教書

松尾社領伯耆國東郷庄事、号代官職、近年守護押領云云、早止彼妨、如元社家全直務、可令專神用之状如件、

(一四六一)

寛正二年七月八日

左大臣兼右近衛大将源朝臣(花押)



足利義政御教書